

# 協力隊 奮闘日記

協力隊と町民の情報交換



本コラムでは、毎月の協力隊の活動状況を簡単にお伝えします。詳細は、協力隊広報誌「きょうりよくタイムズ」も確認してみてください。

1、第1回世界耳吊り選手権 in 八雲町が無事開催されました

世界耳吊り選手権とは、ホタテの養殖作業(耳吊り)の速さを競う大会です。運営には、協力隊も中心として参加し、はびあ八雲で開催しました。八雲の基幹産業であるホタテの養殖作業を知ってもらふことによる担い手対策、町の賑わい創出、経済の活性化ができればと開催しました。たくさんのご協力を頂き、無事開催することができました。ありがとうございます。

2、八雲コミュニティースペース(仮)がオープン

八雲コミュニティースペース(仮)は、まちの中の賑わいを作る拠点として、まちの方が集いまちづくりについて語ったり、情報共有したり、さらに八雲の製品の販売な

ど、まちづくりビジネスを実践するためのスペースです。このスペースは、まちの皆さまのご意見を頂きながら段階的に発展させようと思っており、この記事を書いている今(6月現在)、まさに7月のオープンを目指して準備しています。失敗も多々あるとは思いますが、協力隊として八雲町の活性化のために汗をかくつもりですので、皆さまのご意見やご参加もよろしくお願いいたします。



情報はFacebook・Twitter・Instagramと検索 2115 #h8  
 ○Facebook: @cok.yakumo  
 ○Twitter: @yakumo\_kyoryoku  
 ○Instagram: yakumodcho\_kyoryokutai

vol.8  
 愛知県小牧市・八雲町誌面交流



## えーがね！こまきり

(いいね)

小牧市役所シティプロモーション課観光交流係

鈴木 健

みなさん、こんにちは、4月から人事交流で、小牧市役所のシティプロモーション課に勤務しております、鈴木と申します。

今回は簡単にですが小牧市の概要を、レポートします。小牧市と八雲町の交流が行われるようになった発端は、明治時代にまで遡ります。

明治11年、尾張徳川家第17代当主徳川慶勝氏が北海道遊楽部原野の開墾を开拓使に願い出るとともに、旧尾張藩から八雲への人々の移住を推進しました。その結果、大正7年には八雲町内で尾張地方出身者が600戸にふくらみ、このうち小牧出身も70戸を数えたといわれています。

### 【尾張徳川家の小牧山】

小牧・長久手の合戦以降、小牧山は長年尾張徳川家の所有となっており、昭和2年には「史跡」に指定され、その後今日と同じように一般に公開されるようになりました。そして、昭和5年、尾張徳川家第19代当主徳川義親氏から、当時の小牧町へ小牧山が寄贈され、現在に至ります。

### 【交流のはじまり】

昭和57年、小牧山公開55周年記念事業が開催された際に、臨席されていた尾張徳川家第20代当主徳川義知氏が交流を提言されたのがきっかけとなり、小牧市と八雲町との交流が始まりました。その後、平成元年には小牧市において「小牧市・八雲町交流市民の会」が設立され、市民レベルでの交流の輪が広がっています。

ちなみに、皆さん一度は耳にした事があると思います「名古屋コーチン」ですが、名古屋という名前が付いているて紛らわしいのですが、実は、小牧市発祥のもので、まだまだ詳しく分からないので、次回までに勉強をして名古屋コーチンについて詳しく掲載したいと思っています。



4月の小牧山の桜

## 町長との懇談会 OK

町長と話したい、町長の考えを聞いてみたいと思っている町民の方との懇談会を開催しています。

◆人数 5名以上(団体、個人は問いません)

◆懇談時間 概ね1時間程度

◎希望の開催日時と会場を事前にお知らせください(こちらから伺います)。随時受け付けしています。※日程は町長の公務日程と調整させていただきます。

◆申込先

企画振興課協働推進係

☎0137-62-2300

地域振興課まちづくり推進係

☎01398-2-3111

## ご供養の心によりそう あおいセレモニー



- ・病院、各施設からの直接安置等、ご相談下さい
- ・町外からの搬送もお引き受けいたします
- ・自宅や寺院・会館を利用しての葬儀全てお任せ下さい

〒049-3102 北海道二海郡八雲町東町247-1  
 電話 0137-64-2855 FAX 0137-66-5015

↑広告